

内保連 例会

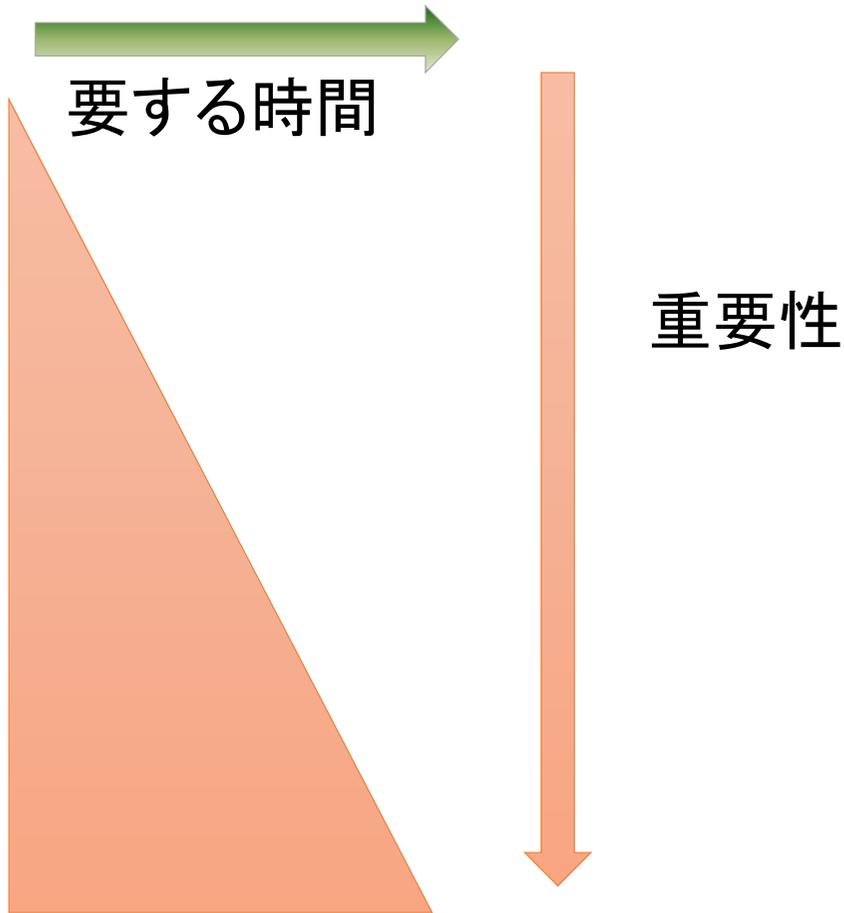
2014.5.27

「説明と同意」に関する診療報酬について

日本呼吸ケア・リハ学会保険委員長
日本呼吸器学会保険副委員長
聖路加国際病院内科統括部長
蝶名林直彦

現診療報酬算定要件の中での
患者への情報提供とその確認に関する記載

- 掲示
- 情報提供
- 指導
- 相談・支援
- 文書
- 同意
- 文書と同意
- 説明
- 説明と掲示
- 説明と文書
- 説明と同意



特掲診療料

A 基本診療料

1. 初診料
2. 再診料 外来診療料
3. 入院基本料+入院基本料加算
4. 特定入院料+入院基本料加算
5. 短期滞在手術基本料

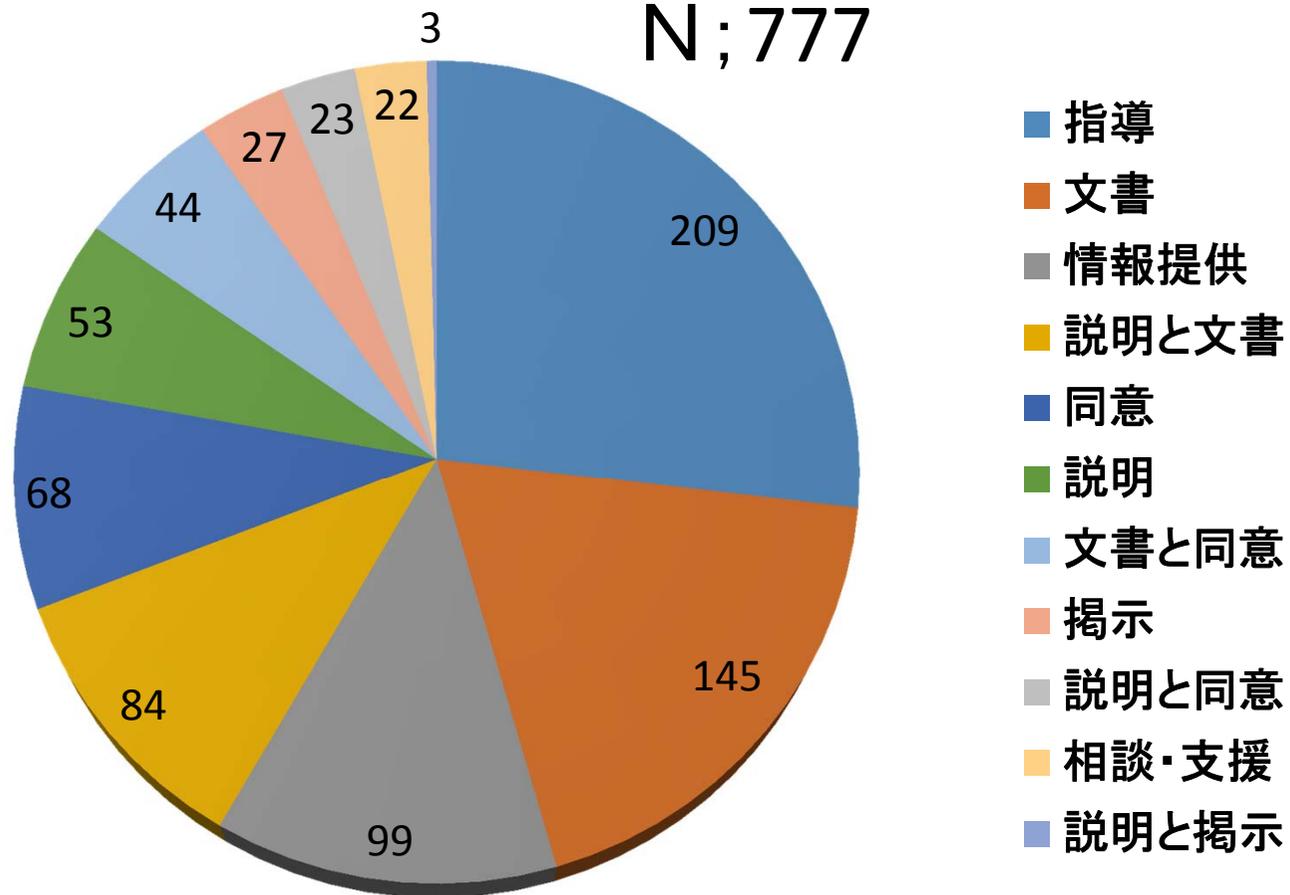
厚生労働大臣が定める基準等

- ◆ 入院時食事療養費
- ◆ 施設基準等
- ◆ 保険医療費担当規則
- ◆ 介護保険の給付調整 等

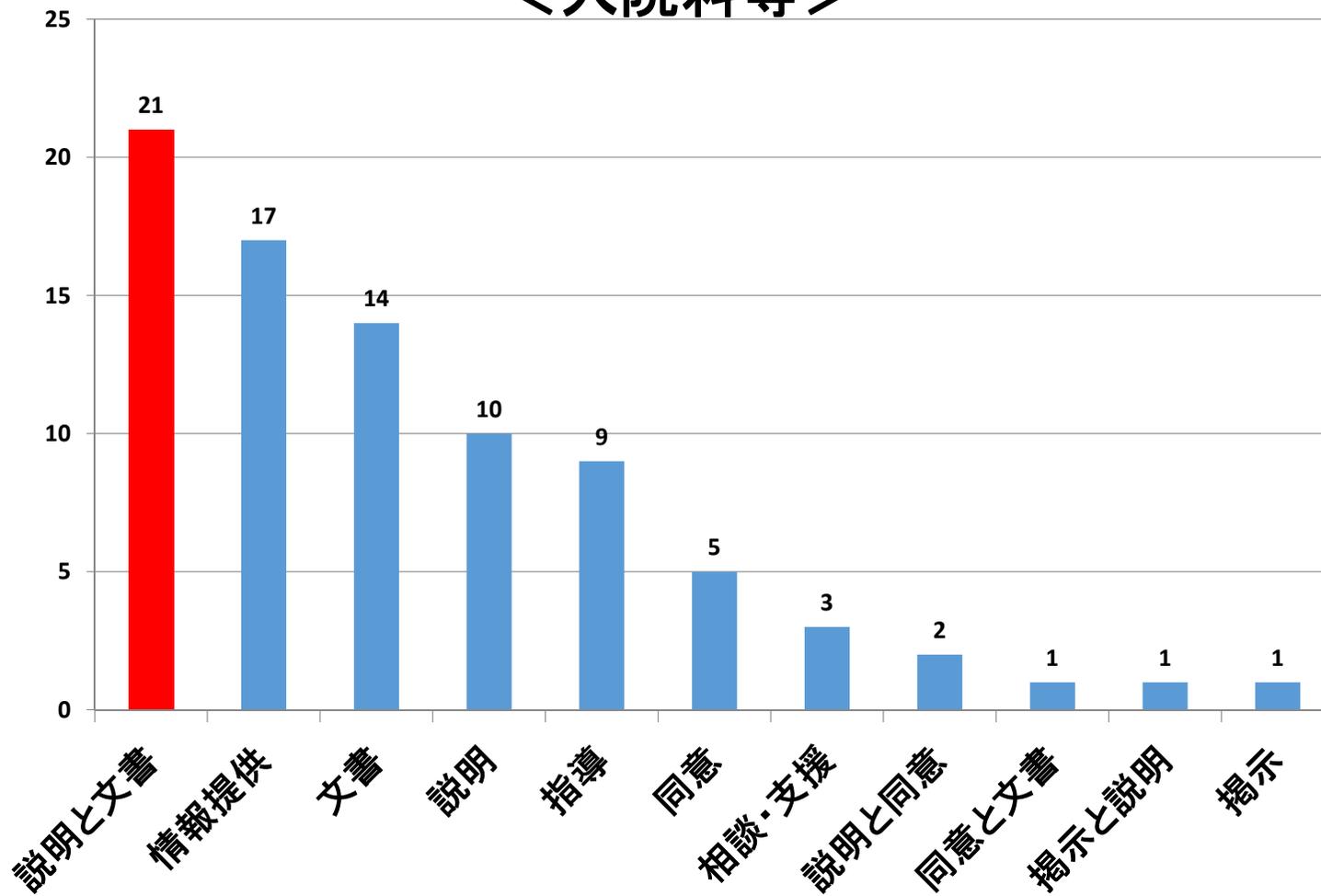
1. 医学管理等 医学管理料
2. 在宅医療 在宅患者診療・指導料
在宅療養指導管理料
3. 検査 検体検査実施料+判断料
生体検査料
4. 画像診断 エックス線診断料
核医学診断料
コンピューター断層撮影診断料
5. 投薬 【外来患者・院内処方】調剤料+処方料+薬剤料
【外来患者・院外処方】処方箋料
【入院患者】調剤料+薬剤料
6. 注射 注射料+薬剤料
7. リハビリテーション リハビリテーション料
8. 精神科専門療法 精神科専門療法料
9. 処置 処置料
10. 手術 手術料
輸血料
11. 麻酔 麻酔料(麻酔料+麻酔管理料)
神経ブロック料
12. 放射線治療 放射線治療料
13. 病理診断 病理標本作製料+病診断断・判断料

各項目の割合

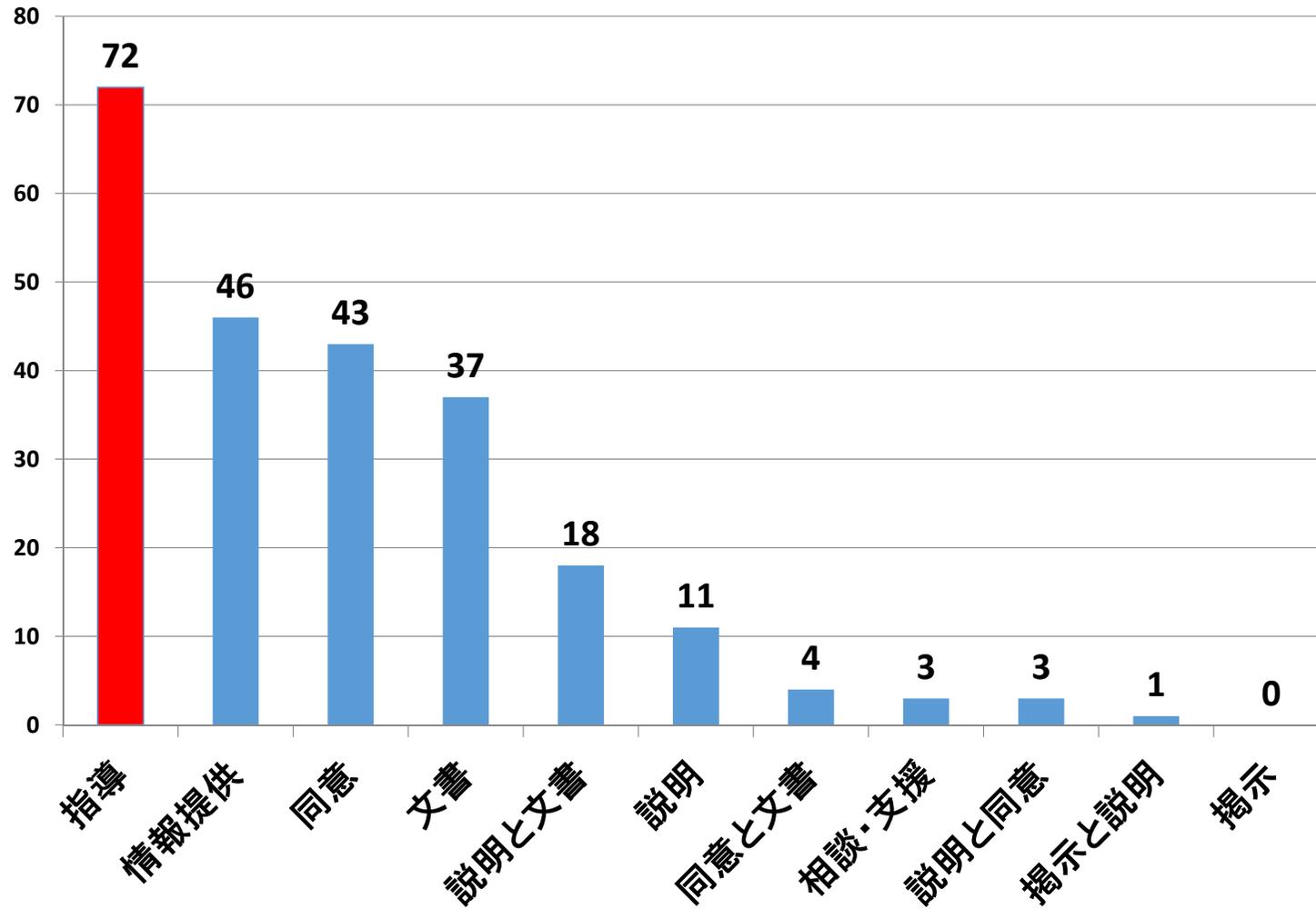
N; 777



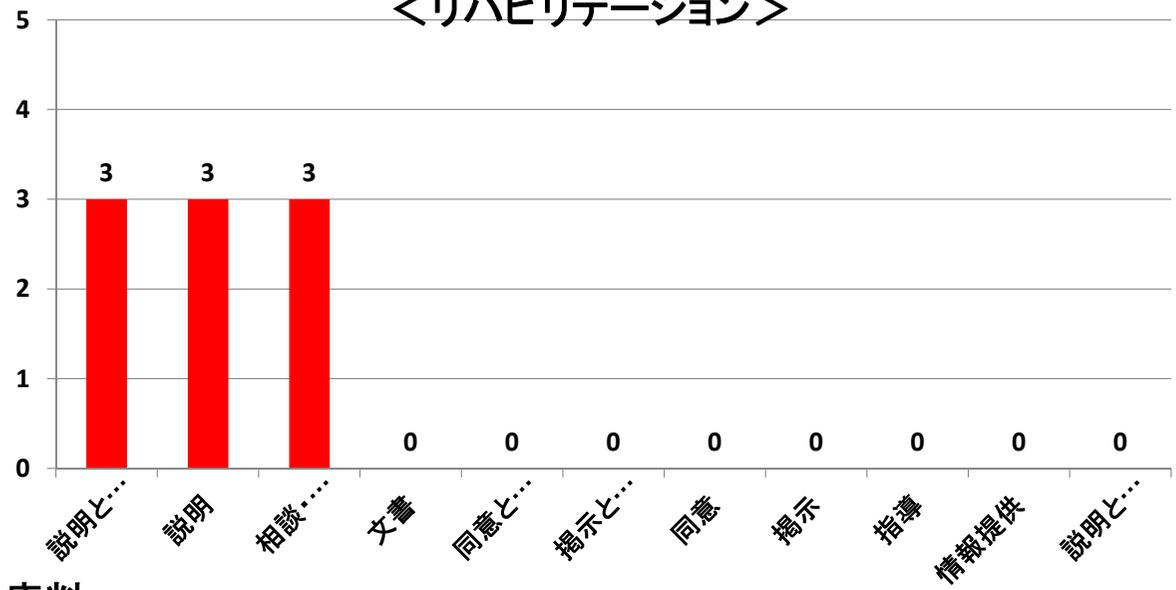
基本診療料 ＜入院料等＞



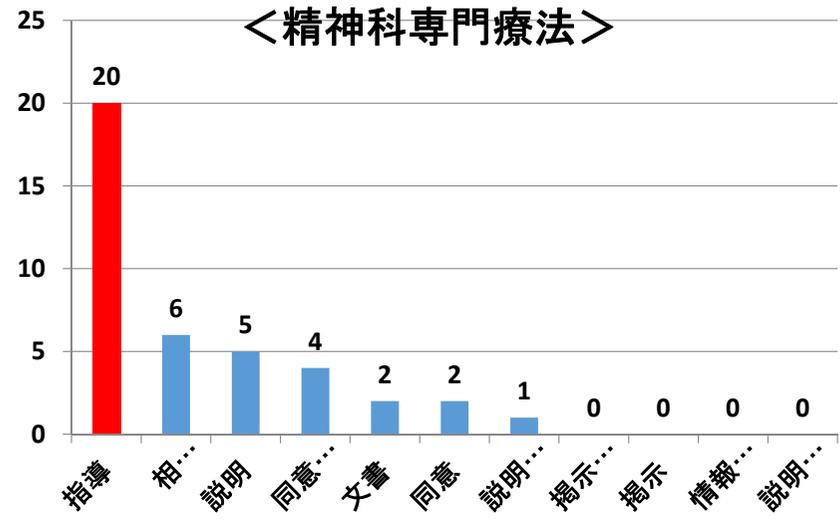
特掲診療料 〈医学管理等〉



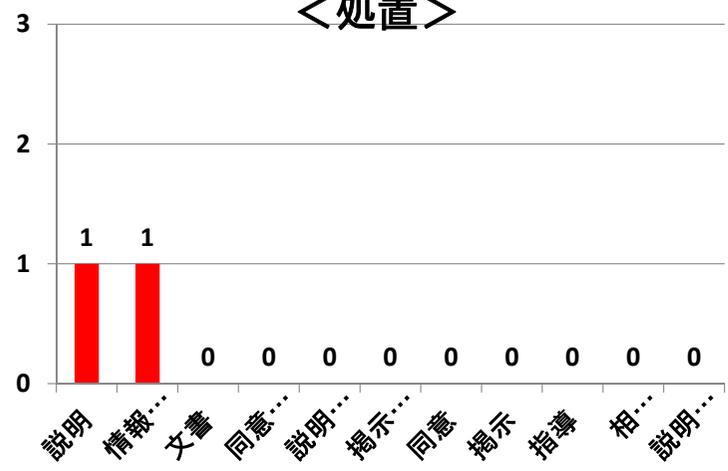
特掲診療料 ＜リハビリテーション＞



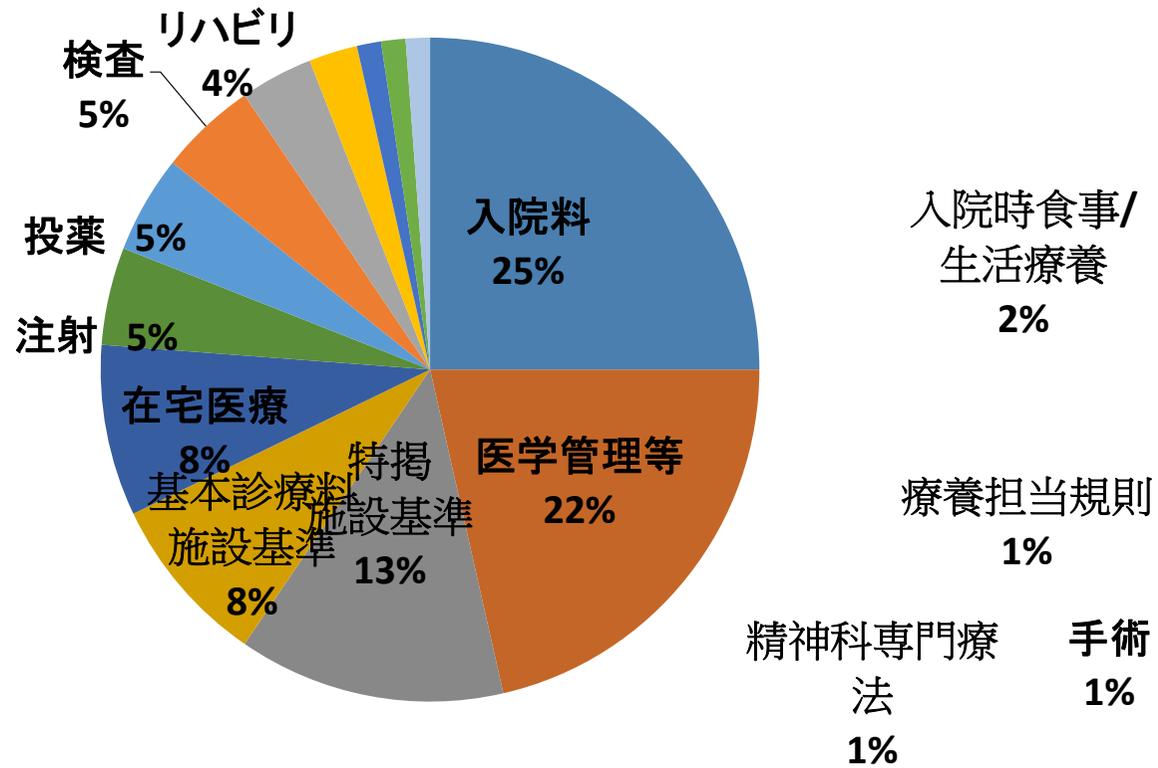
特掲診療料 ＜精神科専門療法＞



特掲診療料 ＜処置＞



説明と文書 n=84



インフォームド・コンセントテンプレート (聖路加国際病院)

【説明日時】 (日付時間)

【説明者】 利用者

説明を受けた人 追加 削除

	説明を受けた人	詳細
1	<input type="text"/>	
2	<input type="text"/>	
3	<input type="text"/>	

病院側同席者 追加 削除

	病院側同席者	詳細
1	<input type="text"/>	
2	<input type="text"/>	
3	<input type="text"/>	

【説明内容】

【説明内容詳細】

フォントカラ MS Pゴシック 大 太 斜 取 下

【患者及び説明を受けた人の反応】

フォントカラ MS Pゴシック 大 太 斜 取 下

【緊急対応】

- ・患者本人の意思があればそれを最優先とする。
- ・患者本人の意思確認困難の場合は、医療チームと家族の総意で判断する。

蘇生術(心臓マッサージ、電氣的救急処置等) ガイド する しない 未定 C

気管挿管(人工呼吸器) ガイド する しない 未定 C

NPPV(鼻マスク人工呼吸器) ガイド する しない 未定 C

気管切開 ガイド する しない 未定 C

輪状甲状靭帯穿刺(ミントラック) ガイド する しない 未定 C

昇圧剤 ガイド する しない 未定 C

血液浄化療法 ガイド する しない 未定 C

中心静脈ライン…末梢挿入型CVライン含む ガイド する しない 未定 C

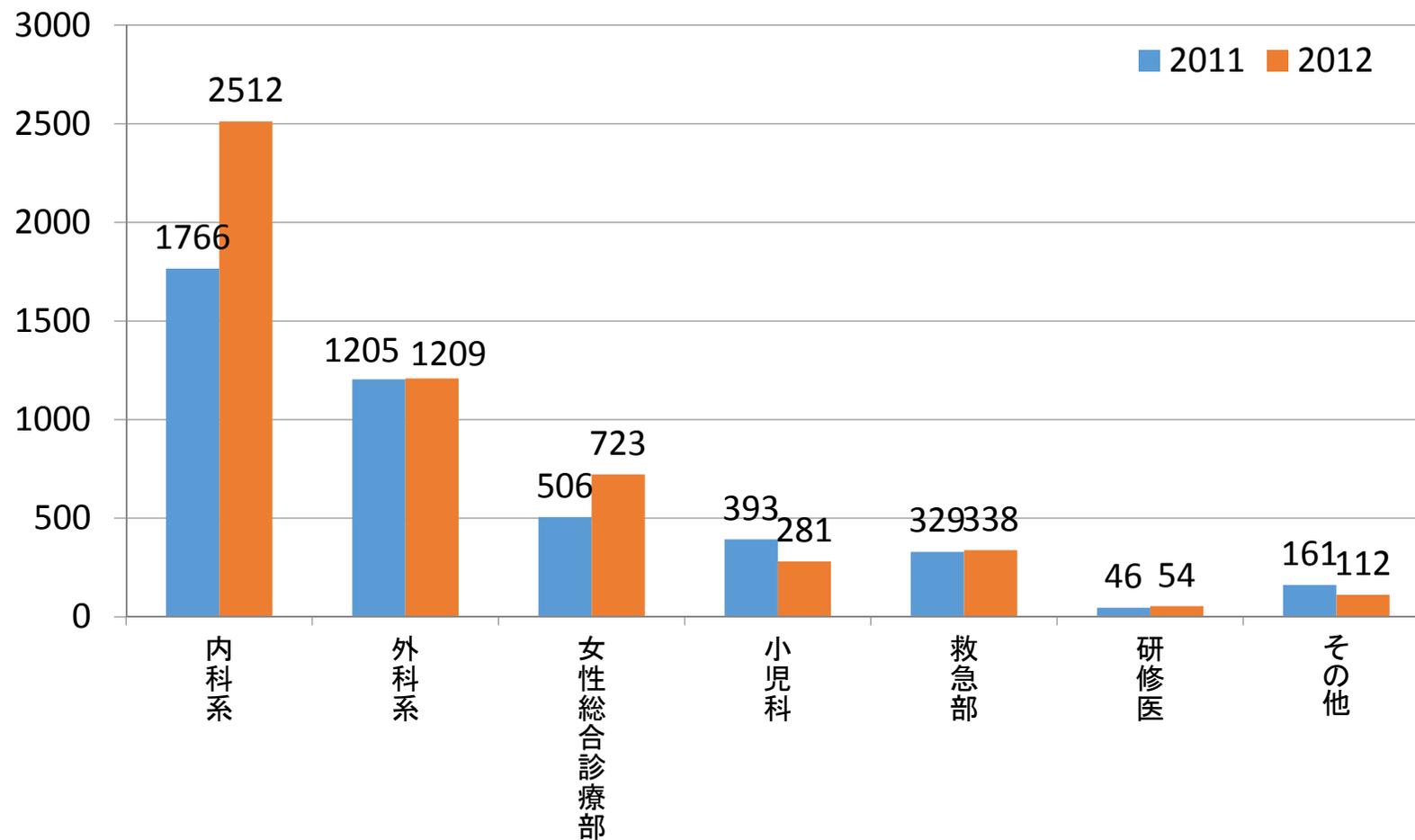
輸血…特定生物由来製品(アルブミン等)除く ガイド する しない 未定 C

集中治療室に入室・再入室するか ガイド する しない 未定 C

する しない 未定 C

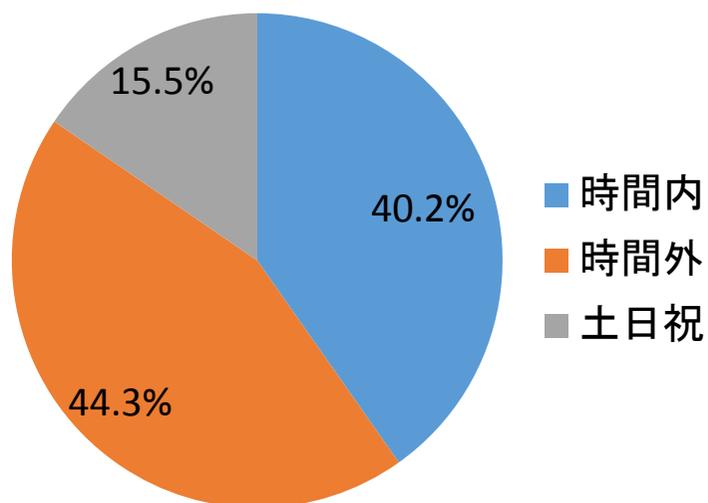
記入者 利用者

診療科別説明件数(聖路加国際病院)

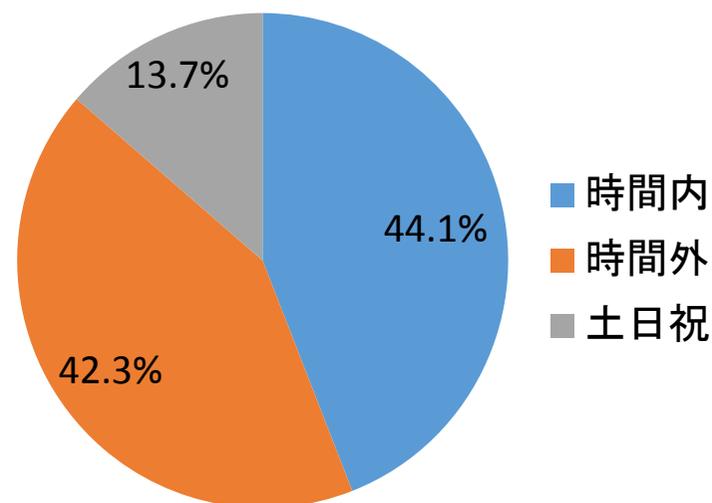


医師による作成開始時間

2011 (N=5,733)

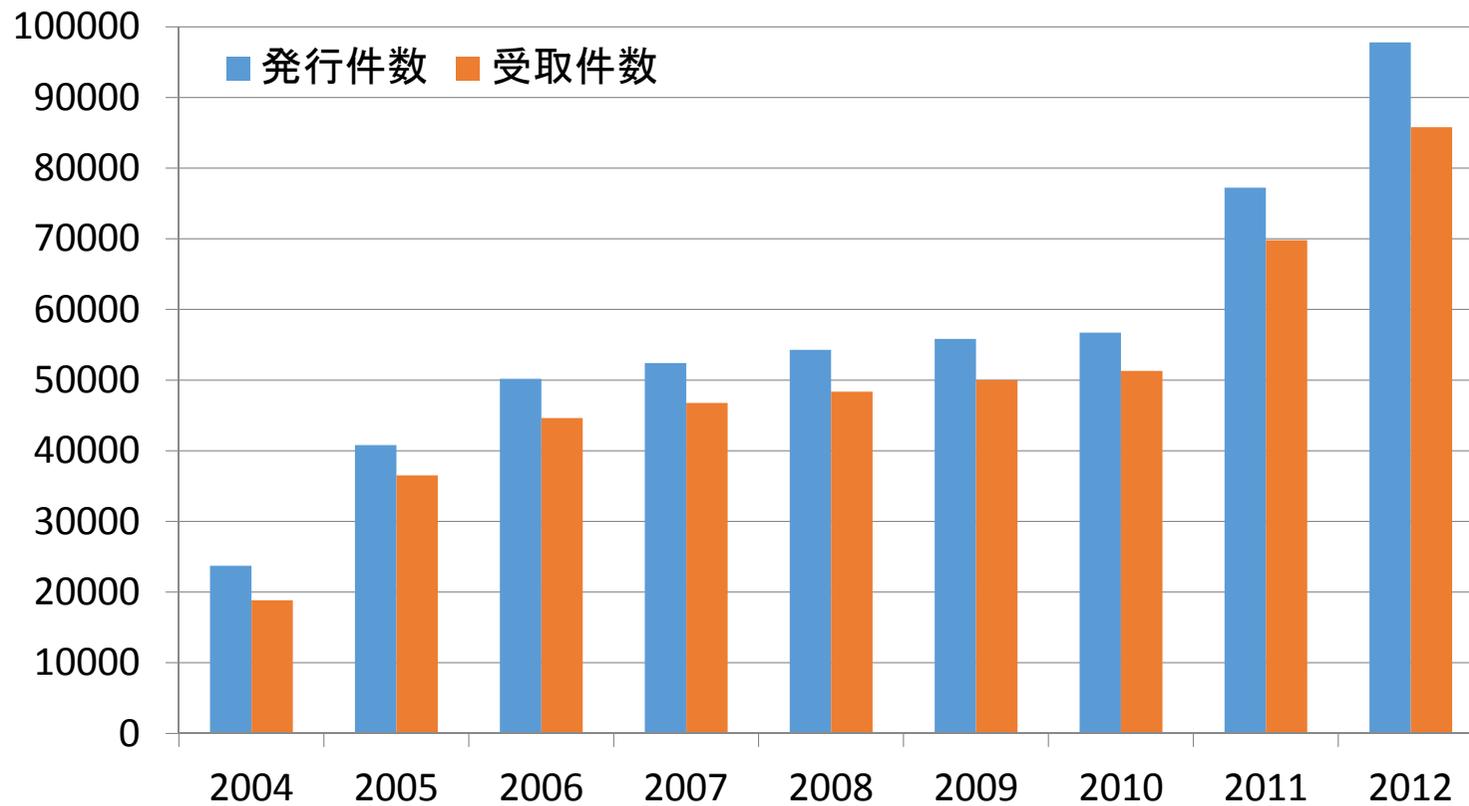


2012 (N=7,550)



対象: テンプレート作成日が対象期間のもの
時間内: 8:30~17:00

同意書 発行・受取件数 (聖路加国際病院)



同意書と名前がつく文書の発行および受取件数

インフォームド・コンセントの種類

1. 外来で行う簡単な、検査・病名・治療法の説明（5分以内）、医師1人 例

- ・胸部CTの撮影理由及びアレルギー歴の有無、
- ・非結核性抗酸菌症の一般的予後と家族感染に関する注意

2. 入院中に行う、病期の予後、今後の治療方針の概要・生活習慣病の予防等 例（1回15分程度、医師1人以上）

- ・肺癌の今後の化学療法の設定と一般的予後
- ・COPDに対する在宅酸素療法の説明と禁煙の効果

3. 入院中に行う、生命維持にかかわる重大な選択に関する説明 例（1回30分以上、医師+コメディカル 2人以上）

- ・ICUでの重症肺炎に対する人工呼吸器装着及び、治療的予後
- ・重症肺線維症に対する今後の治療選択、特に終末期治療の選択希望

《重症肺炎の為、人工呼吸管理を選択する場合》

既にある診療報酬項目；該当する者なし

人工呼吸開始時； 30分以上

医師2人、臨床工学士、看護師各1名

呼吸管理終了時(気管切開移行時)；30分以上

医師1人・看護師1名

- 内容： 治療の目的
- どのようなスケジュール及び具体的処置
- 安全に行うための注意点
- 副作用
- 費用
- それ以外の検査との比較 酸素療法・NHFなど
- 質問を促す
- 署名

今後の活動の具体的な方法

I. 対象項目の決定

《現状把握》

内保連内での調整

内視鏡関連委員会での実態調査

内科系癌関連学会での実態調査

【例】 臨床腫瘍学会
肺癌学会
消化器学会

外保連との連携—手術前の説明の実態

看保連との連携

集中治療学会等での実態

緩和ケア学会での実態

II. 調査の内容

対象となる検査・処置・治療

説明に要する時間

説明に参加する職種及び人数

文書取得の有無